佐藤次高先生追悼特集

イスラーム地域研究の道しるべ

湯川　武
「イスラーム地域研究」代表
早稲田大学イスラーム地域研究機構・上級研究員

二〇〇九年三月に創刊された本誌の一号（二〇〇九年）から三号（二〇一一年）の巻頭には、佐藤次高さんの文章がいつも掲載されていた。その佐藤さんの文章は第四号である本号ではもう読むことはできない。二〇一一年四月十一日、佐藤さんは帰らぬ人となられた。

佐藤さんが体調不良を自ら訴えられるようになった二〇一一年が明けて間もない頃からも、周囲の私たちは必ず元気になって戻ってこられるものと信じていた。その願いも四月の御訃報で儚いものとなってしまった。私たち関係者全体にとって、そして、またそれぞれにとって、言葉には表しつくせない重い出来事であった。

亡くなられた時の佐藤さんは、早稲田大学文学学術院教授で早稲田大学イスラーム地域研究機構長であるとともに、人間文化研究機構（ＮＩＨＵ）プログラム「イスラーム地域研究」の研究代表でもあった。

佐藤さんと「イスラーム地域研究」の歴史は、自らの筆で本誌の第一巻の巻頭に「イスラーム地域研究―歴史と展望」という論文に書き残されている。そこでは一九六〇年代後半から始まった日本における中東・イスラームに関する共同研究の歴史について、一九八八―一九九二年の「イスラームの都市性」プロジェクト、一九九七―二〇〇二年の「イスラーム地域研究」プロジェクトへと進化発展し、さらに二〇〇六年から人間文化研究機構（ＮＩＨＵ）プログラム「イスラーム地域研究」へと展開し現在に至っている経緯（ちなみに、同「イスラーム地域研究」は佐藤さんが亡くなる前に第二期［二〇一一―二〇一五年］への継続が決まり、現在活動中である）が詳しく述べられている。佐藤さんがこの流れの中で、特に一九九七年の「イスラーム地域研究」プロジェクト以来常にリーダーとして全体を統括する役割を果たしてこられたことは多くの人たちの知るところである。そこでは「イスラーム地域研究」という新しい学問的な概念を通して、それまでのイスラーム研究や地域研究の枠組み超えて新たな観点の進化発展が模索され続けてきた。

さらに二〇〇六年から始まったＮＩＨＵ

2011年4月15日、芝増上寺斎場にて

プログラム「イスラーム地域研究」においては、拠点ネットワーク方式による共同研究のアイディアや、その内容についての構想など、佐藤さんはほとんど独自に大きな枠組みを練り上げ、多くの研究者仲間を巻き込んで、実際の活動を出発させたという点で、きわめてユニークな存在であったと言える。そして、その延長線上に早稲田大学にも研究組織を立ち上げ、それが現在のイスラーム地域研究機構（二〇〇六～八年はイスラーム地域研究所）に至っている。これらの流れのうちに、佐藤さん自身の傑出した個人的な学問的業績とは別の、学問の発展への大きな貢献があると言える。

私たち早稲田大学イスラーム地域研究機構に属する者や古くからお付き合いのある者にとっては、佐藤さんを失ったことは、上に述べたこととはまた異なった面でも大きな出来事であった。所属する組織の指導者であり、研究仲間であり、先輩であり、恩師である人を突然失っただけではないショックを、皆さまざまな意味やレベルで強く感じたし、いまだに感じ続けている。そのもろもろの思いを込めて、本号、すなわち本誌第四巻では、故人の追悼を特集することにした。早稲田大学文学部やイスラーム地域研究その他さまざまな場で、佐藤さんの薫陶を受けた若い人たちが、これから将来それを伸ばし開花させていくことが、故人へのもっとも良い供養になることと信じている。心からご冥福を祈ります。

1994年1月シナイ半島のトゥールにて

故佐藤次高先生の略歴と主要著書

［略歴］

一九四二年、神奈川県生まれ。一九六八年、東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退。東京大学文学部教授をへて、早稲田大学文学学術院教授。東京大学名誉教授。財団法人東洋文庫研究部長、財団法人史学会理事長を歴任。アラブ・イスラーム史専攻。二〇〇六年から「ＮＩＨＵ（人間文化研究機構）プログラム　イスラーム地域研究」を主宰するとともに二〇〇八年からは早稲田大学イスラーム地域研究機構長を務めた。

［主要著書］

『中世イスラーム国家とアラブ社会』（山川出版社、一九八六年）、
『マムルーク―異教の世界からきたイスラムの支配者たち』（東京大学出版会、一九九一年）、
『イスラームの「英雄」サラディン―十字軍と戦った男』（講談社、一九九六年）、
『聖者イブラーヒーム伝説』（角川書店、二〇〇一年）、
『イスラームの国家と王権』（岩波書店、二〇〇四年）、*State and Rural Society in Medieval Islam* (Leiden, E. J. Brill, 1997
日本学士院賞・恩賜賞（二〇〇〇年））、
『砂糖のイスラーム生活史』（岩波書店、二〇〇八年）、『イスラームを知る一、イスラーム　知の営み』（山川出版社、二〇〇九年）

なお、著作目録に関しては、早稲田大学イスラーム地域研究機構で編集を予定している。